

令和2年度 KPI評価シート

基本目標	1 魅力ある安定した雇用が生まれるまちづくり						
目的	<p>「しごと」と「ひと」の好循環を確立するためには、まず、「しごと」づくりが第一です。転入超過の状況を維持するには、新しい人の流れを彦根市に呼び込み、若い世代の結婚から子育てまでの希望をかなえ、彦根市に住み、住み続けるための前提として、「しごと」の確保は欠かせません。</p> <p>そのため、産業振興や競争力の強化などに、官民が連携して取り組むことで、安定した雇用や魅力ある雇用を創出し、多様な雇用機会の確保に努めていきます。</p> <p>また、近年、人材不足が深刻化していることから、就労に結びつく「ひとを育てる支援」や、官民の連携による新卒者等の地元就労を促す「しごととひとを結びつける支援」を強化することによって、彦根市で就労できる環境や企業が人材を確保しやすい環境を整えていきます。</p> <p>さらに、文化・歴史資産、農林水産物などの地域資源を活かした観光産業や農林水産業等の活性化などによる雇用の創出にも努めていきます。</p>						
数値目標	指標	基準値	目標値 (令和6年度)				
	有効求人倍率 (彦根管内)	1.72倍 (平成27～30年度平均)	1.50倍				
各施策とその方向性	施策名	KPI名	KPI基準値	KPI目標値(R6年度)	方向性		
	(1) 企業立地や産業集積の促進等による地元での就職環境の整備	有効求人倍率(彦根管内)	1.72	1.50	交通の利便性は充実した教育機関などの彦根市の強みや特性を活かしながら、企業立地や産業集積の促進を図り、安定した多様な雇用先を確保します。 また、地元企業と学生のマッチングなどに積極的に取り組み、市内大学卒業者ははじめとした新卒者や既卒者の本市域での就職を促進していきます。		
		企業立地促進助成措置件数(件)	83	98			
	(2) 起業や新分野への進出に対する支援による新たな雇用の創出	起業者数(人)	74	149	地域に新たなビジネスや雇用を創出し、地域を活性化させるため、官民連携のもと、起業や第二創業等による新たな分野への進出に係る人材育成や企業育成等について支援を行っていきます。		
	(3) 地場産業の人材確保・育成および競争力強化	彦根仏壇職人等後継者育成事業補助者数(人)	17	29	彦根市の地場産業である彦根仏壇・バルブ・ファンデーションの活性化を図るため、「彦根市地場産業活性化基本方針および行動計画」に基づき、関係機関の連携のもと、人材の確保・育成、営業戦略、販路拡大、技術商品開発等によるブランド強化、国際化(海外展開)等について、各産業の特性に合わせた取組を展開するとともに、必要な支援を行っていきます。		
	(4) 6次産業化や農商工連携の推進による農林水産業の競争力強化	新規就農者数(人)	0	3	優れた経営感覚を持つ多様な担い手を将来にわたって確保し、先駆的な取組を行う農業者の育成を図るとともに、経営体の法人化を推進し、安定した経営基盤を確立することで、6次産業化による生産・加工・流通の一体化や農商工連携が図れるよう支援していきます。		
		法人経営体数	23	26			
	(5) 人材不足の職場における人材の確保・定着への支援	福祉の職場説明会参加者のうち就職に結びついた人数(人)	5	12	福祉・介護・医療職場等、求人と求職のミスマッチが生じている職場については、人材を確保するため、説明会等の開催や必要な資格取得に対する支援を行うとともに、離職率の高い職種については、研修会の開催や待遇改善を働きかけるなど、必要な人材の確保・定着への支援を行っていきます。		
		ひとり親家庭が就職に有利な資格等を取得する際に係る費用助成対象者数(人)	21	52			
	(6) 観光・文化・スポーツの振興による地域活性化策の強化	観光入込客数(人)	3,073,300	3,650,000	20世紀型観光からの脱却を図るため、国宝彦根城をはじめとする文化財や彦根城博物館を、市民をはじめとする多様な主体が文化活動を展開できる文化的空間として活用し、磨きあげることで、ブランド力の向上を図り、まちなみ景観、文化財、食、伝統産業、文化・芸能等を取り込んだ魅力的な城下町「21世紀型城下町・彦根」を創造していきます。さらには、国内はもとより外国人観光客に対する効果的な誘客促進により、地域活性化を図るため、広域観光の促進とインバウンド誘致に努めていきます。これにより、交流人口の増加と観光消費が及ぼす経済波及効果を創出し、地域経済の持続的な活性化を図っていきます。		
		観光消費額(億円)	158	200			
		外国人観光客数(人)	85,328	100,000			
令和2年度の評価と課題	施策名	KPI名	令和2年度KPI結果	令和2年度KPI目標値	評価	課題	課題解決に向け、今後実施すべき取組
(1) 企業立地や産業集積の促進等による地元での就職環境の整備	有効求人倍率(彦根管内) 【地域経済振興課】	1.14	1.50	76.0%	(内部) 新型コロナウイルスの影響で令和2年1月から減少していた有効求人倍率は、令和2年8月からは徐々に回復しつつあったが令和3年2月から再度減少に転じており、目標値を達成することができませんでした。	(内部) 新型コロナウイルス感染症の影響により雇用状況は依然厳しい状態にあるが、彦根地域雇用対策協議会で各関係機関と各事業所との連携により課題解決に取り組めます。	
					(外部) ・コロナ禍でやむを得ない状況だった。 ・有効求人倍率は県内でも彦根は1番高い。 ・現状は雇用調整金で保っている状況であり、中にはダブルワークをしている人もいる。正規という安定した雇用に付ける状態にしないといけない。 ・市全体で新しい就職口が必要である。 ・情報発信の工夫をして必要な人に届くようにしてマッチングをしなければいけない。	(外部) ・今後実施する取組を着実に実施すること。	
企業立地促進助成措置件数(件)【累計】 【地域経済振興課】	89	86	達成	(内部) 彦根市企業立地促進条例の周知により企業の投資が一定数あったことからの目標達成することができました。	(内部) 今後も現企業立地促進制度の周知に努め、各種企業立地施策を推進することで、企業の設備投資の促進や企業誘致を図ります。		
				(外部) ・設備投資にかかる投資額についてもセットで考えていかなければいけない。	(外部) ・、コロナ禍でも達成できたので、どのような内訳で達成できたのかを把握する必要がある。		

令和2年度 KPI評価シート

令和2年度の評価と課題	施策名	KPI名	令和2年度KPI結果	令和2年度KPI目標値	評価	課題	課題解決に向け、今後実施すべき取組
	(2) 起業や新分野への進出に対する支援による新たな雇用の創出【基本目標3にも掲載】	起業者数(人)【累計】 【地域経済振興課】	107	89	達成	(内部) 新型コロナウイルス感染症の影響により、創業者数は前年度比半減したが、累計人数により目標を達成することができました。	(内部) 中央町サテライトオフィス整備等、市内の大学や商工会議所など各関係機関と連携して、起業できる環境等を整備していきます。
						(外部)	(外部) ・今後実施する取組を着実に実施すること。
	(3) 地場産業の人材確保・育成および競争力強化	彦根仏壇職人等後継者育成事業補助者数(人) 【地域経済振興課】	20	21	95.2%	(内部) 後継者不足は深刻化しており、事業所によっては廃業の恐れがある。	(内部) 引続き新たに雇用する職人にかかる人件費の補助を行うほか、仏壇の魅力を高めるために、組合が取組む様々な活性化策に支援を行う。
						(外部)	(外部)
	(4) 6次産業化や農商工連携の推進による農林水産業の競争力強化	新規就農者数(人)【累計】 【農林水産課】	2	1	達成	(内部) 稲枝をはじめとする彦根市南部地域では、認定農業者をはじめとした担い手が充足しており、土地利用型農業にて新たに就農するには、借地を行う余地が少ないため、認定新規就農者を増やすことが難しい現状です。 しかしながら、農業者の高齢化が進んでいることから、雇用就農・農家子弟等の新規就農を引き続き支援し、地域農業の持続性を保つことが課題となっています。	(内部) 新規就農者への支援および補助制度につきましては、ホームページ等を活用し積極的なPRを引き続き行ってまいります。 また、コロナ禍の影響により解雇・離職された等の理由から、新たな雇用就農・新規就農の希望者がある事を期待しており、引き続き、市と関係機関が連携して就農希望者へのサポート等を行い、条件が整えば青年就農給付金を交付することにより、新規就農者の定着を図ります。
						(外部)	(外部) ・今後実施する取組を着実に実施すること。
		法人経営体数【累計】 【農林水産課】	25	24	達成	(内部) 本市では経営の法人化を希望する経営体は、概ね法人化を実現されていますが、比較的高齢の農業者は、後継者問題などから経営法人化に消極的であり、法人経営体数を飛躍的に増加させることは困難な状況にあります。	(内部) 認定農業者等の担い手がない地域においては、集落営農組織の法人化や経営体質強化に向け、引き続き湖東地域農業センターと連携し、その指導と支援を図ります。 また、親元就農者が経営承継される機会などを捉えて、法人化支援を行ってまいります。
						(外部)	(外部) ・今後実施する取組を着実に実施すること。

令和2年度 KPI評価シート

令和2年度の評価と課題	施策名	KPI名	令和2年度KPI結果	令和2年度KPI目標値	評価	課題	課題解決に向け、今後実施すべき取組
(5) 人材不足の職場における人材の確保・定着への支援	福祉の職場説明会参加者のうち就職に結びついた人数(人) 【介護福祉課】	福祉の職場説明会参加者のうち就職に結びついた人数(人) 【介護福祉課】	0	12	0.0%	(内部) 福祉の職場説明会を例年2回開催していましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行により実施できませんでした。コロナ禍が長引く中、どのように職場説明会を開催するか検討する必要があります。	(内部) 職場説明会については、SNS等のデジタルツールを活用して事前に情報発信を行い、会場での滞在時間を短縮する等の感染対策を徹底した上で開催していきます。 また、福祉職場の魅力を伝えるパンフレットの作成にも取り組み、引き続き人材確保に努めます。
						(外部) ・コロナ禍だったことはわかるが、社会的に弱い立場の人の就職は重要なので、他の方法を模索する必要があります。	(外部) ・SNS等のデジタルツールを活用して事前に情報発信するなど、充実させて、どのように繋げるかの検討が必要。 ・施設への就職者だけでなく、訪問介護の部分の人材についても同時並行で増加するような取組が必要。
						(内部) 資格を活かした就労に結びつかない場合もあり、就職に際してのフォローによるひとり親家庭の自立に向けた就労支援を図っていく必要があります。	(内部) 当課で実施しているプログラム策定員による就労支援とハローワークとの連携により、看護師や保育士、介護関係の資格取得者へのフォローを行うことで、ひとり親家庭の経済的自立と併せて職場の人材の確保・定着を目指します。
(6) 観光・文化・スポーツの振興による地域活性化策の強化	ひとり親家庭が就職に有利な資格等を取得する際に係る費用助成対象者数(人)【累計】 【子育て支援課】	ひとり親家庭が就職に有利な資格等を取得する際に係る費用助成対象者数(人)【累計】 【子育て支援課】	32	29	達成	(外部) ・今後実施する取組を着実に実施すること。	
						(内部) 令和2年に関しては、新型コロナウイルス感染症の流行により、前年比約46%の観光入込客数となった。 今後についても、不透明な状況が続いています。	(内部) 今後の先行きは不透明ではあるが、withコロナ、afterコロナそれぞれに応じた観光振興施策や誘客施策等の研究・検討を行い、安心安全な実施や、準備を行ってまいります。
						(外部) ・コロナ禍で観光が落ち込んでいることは理解できるが、コロナの回復を待つだけでいいのか。ウェブの活用や情報発信など新たな手法は考えられないか。	(外部) ・コロナ禍で観光が落ち込んでいることは理解できるが、コロナの回復を待つだけでいいのか。ウェブの活用や情報発信など新たな手法は考えられないか。
(6) 観光・文化・スポーツの振興による地域活性化策の強化	観光消費額(億円) 【観光交流課】	観光消費額(億円) 【観光交流課】	79	167	47.3%	(内部) 新型コロナウイルス感染症の流行により、観光消費額に関しては、前年比約49%の観光消費額となりました。	(内部) 今後の先行きは不透明ではあるが、withコロナ、afterコロナそれぞれに応じた観光振興施策や誘客施策等の研究・検討を行い、安心安全な実施や、準備を行うことにより、観光消費額の増加を図ってまいります。
						(外部) ・コロナ禍で観光が落ち込んでいることは理解できるが、コロナの回復を待つだけでいいのか。ウェブの活用や情報発信など新たな手法は考えられないか。	(外部) ・コロナ禍で観光が落ち込んでいることは理解できるが、コロナの回復を待つだけでいいのか。ウェブの活用や情報発信など新たな手法は考えられないか。
						(外部) ・コロナ禍で観光が落ち込んでいることは理解できるが、コロナの回復を待つだけでいいのか。ウェブの活用や情報発信など新たな手法は考えられないか。	(外部) ・コロナ禍で観光が落ち込んでいることは理解できるが、コロナの回復を待つだけでいいのか。ウェブの活用や情報発信など新たな手法は考えられないか。

令和2年度 KPI評価シート

令和2年度の評価と課題	施策名	KPI名	令和2年度KPI結果	令和2年度KPI目標値	評価	課題	課題解決に向け、今後実施すべき取組
		外国人観光客数(人) 【観光交流課】	16,529	88,000	18.8%	(内部) 新型コロナウイルス感染症の流行により、外国人観光客数については、前年比約18%となりました。	(内部) 観光入込客数のうち外国人観光客については、国内観光客よりも回復は遅れるものと考えている。来るべきインバウンド需要の回復期に向け、afterコロナの外国人観光客誘致について調査研究を行ってまいります。
						(外部)	(外部) ・コロナ禍で観光が落ち込んでいることは理解できるが、コロナの回復を待つだけでいいのか。ウェブの活用や情報発信など新たな手法は考えられないか。
		歴史まちづくり取組件数(件) 【景観まちなみ課】	25	27	92.6%	(内部) 歴史的風致の維持向上では、関係課等が継続的に歴史まちづくりに関連する事業の推進を図ることによって、目標を達成することが出来ています。	(内部) 彦根市歴史的風致維持向上計画(第2期)に基づき、彦根城を中心とする歴史的風致を後世に伝えるため、関係課ならびに市民や関係団体等と協働して、歴史まちづくりの取り組みを推進する必要があります。
						(外部)	(外部) ・今後実施する取組を着実に実施すること。
		スポーツ大会の市外参加人数(人) 【スポーツ振興課】	0	1,354	0.0%	(内部) 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、評価対象事業のすべてを中止としたため、実績値が0となったものです。	(内部) 誰もが安心してスポーツに参加できるよう、本市主催のスポーツイベントはもとより、彦根市スポーツ協会加盟団体等が実施する各種大会・行事等についても、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底を図るとともに、市民だけでなく、市外住民も参加できるよう周知徹底を図るなど、地域活性化に向けた取組を推進していきます。
						(外部)	(外部) ・今後実施する取組を着実に実施すること。